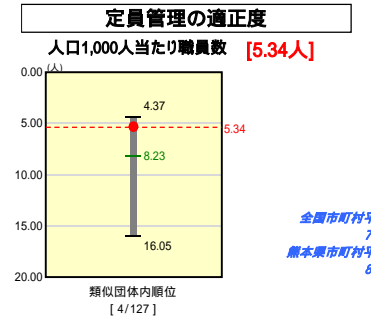
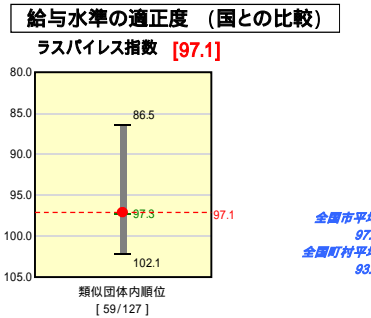
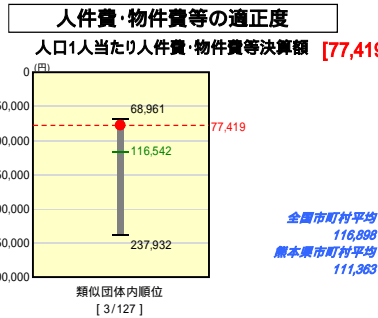
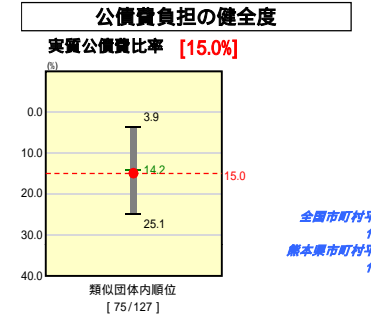
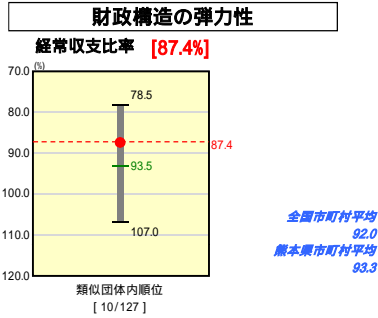
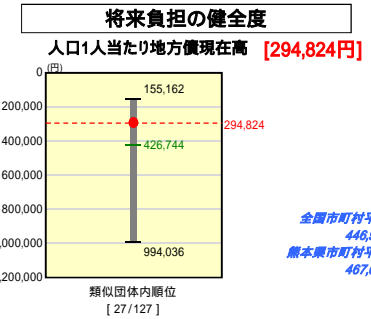
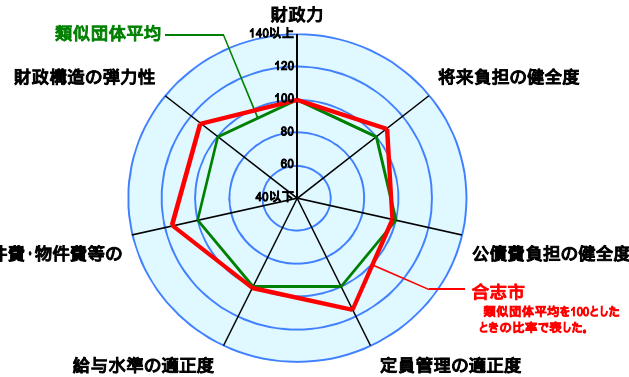
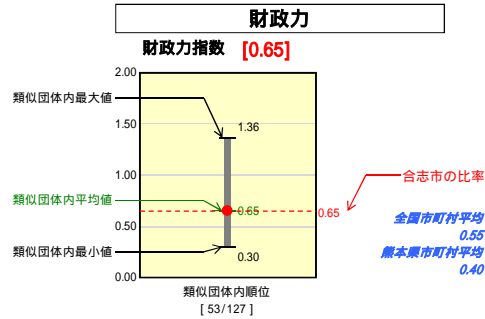


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

熊本県 合志市

人口	54,163 人(H20.3.31現在)
面積	53.17 km ²
歳入総額	16,870,011 千円
歳出総額	15,557,145 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
平成18年度と比較(H18:0.61 H19:0.65)すると0.04ポイント高くなっている。これは、合併による行政改革の強化及び税収の増加が要因となっている。類似団体平均と比較(合志市:0.65、類似団体平均:0.65)すると同水準となっている。今後も総合計画及び集中改革プランを踏まえ、一層の歳入確保、歳出削減を図り、更なる財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】
平成18年度と比較(H18:92.0% H19:87.4%)すると4.6%低くなっている。これは、税収の増加が大きな要因となっている。類似団体平均と比較(合志市:87.4%、類似団体平均:93.5%)すると6.1%低くなっているが、今後、扶助費等の社会保障費の増加が見込まれることから、一層の経常経費の削減、財源の確保を図り経常収支比率の低下に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
平成18年度と比較(H18:80,159円 H19:77,419円)すると2,740円低くなっている。類似団体平均と比較(合志市:77,419円、類似団体平均:116,542円)すると39,123円低くなっている。今後も定員適正化計画及び財政計画に基づき経費の削減を図り、適正水準の維持に努める。

【ラスパイレス指数】
平成18年度と比較(H18:97.1 H19:97.1)すると同水準となっている。類似団体平均と比較(合志市:97.1、類似団体平均:97.3)すると

0.2ポイント低くなっている。今後も集中改革プランに基づき適正な給与と管理を図り、適正な給与水準の維持に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
平成18年度比較(H18:294,391円 H19:294,824円)すると433円高くなっている。これは、臨時財政対策債及び合併特例債の増入額の増加が要因となっている。類似団体平均と比較(合志市:294,824円、類似団体平均:426,744円)すると131,920円低くなっているが、今後も合併特例債の借入を考慮しているため、更なる事業の緩急を図り、より一層計画的な地方債発行に努める。

【実質公債費比率】
平成18年度比較(H18:14.7% H19:15.0%)すると0.3%高くなっている。これは、実質公債費比率の算定方法が一部修正されたことが要因となっている。類似団体平均と比較(合志市:15.0%、類似団体平均:14.2%)すると0.8%高くなっている。今後、比率に大きく影響する他会計への繰出金の見直しを行うとともに、上記のとおり計画的な地方債の発行に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
平成18年度比較(H18:5.40人 H19:5.34人)すると0.06人少なくなっている。類似団体平均と比較(合志市:5.34人、類似団体平均:8.23人)すると2.89人少なくなっている。今後も、定員適正化計画に基づき適正な定員管理に努める。